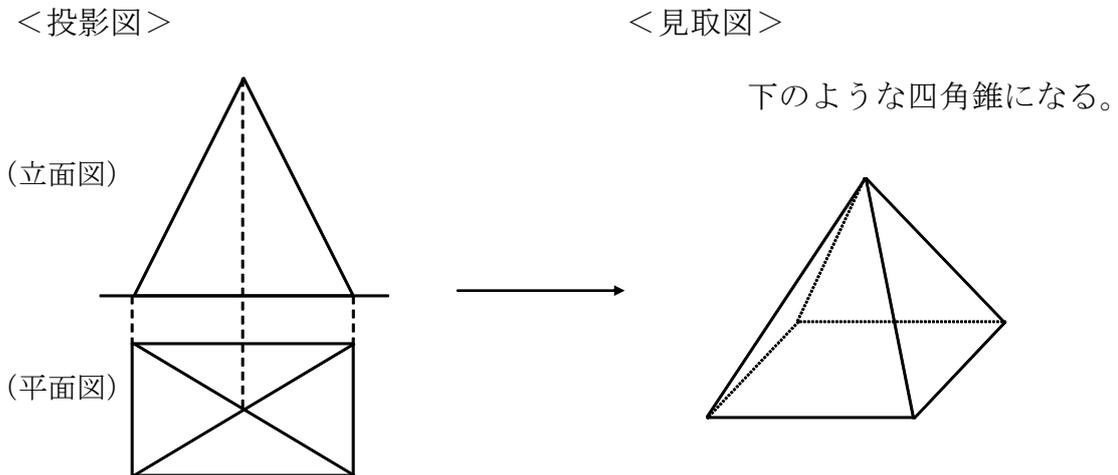


【要点】⑥投影図

(1) 投影図

立体を真上から見て写し取った図を平面図といい、真正面から見て写し取った図を立面図という。平面図と立面図をあわせて投影図という。投影図の問題では、投影図から見取図（立体が立体として見えるように書いた図）を書けなければいけない。

[例]



(2) 柱体と錐体の投影図

柱体か錐体かは立面図で判断できる。立面図が長方形なら柱体、立面図の先がとがっている（1点に集まっている）ものは錐体とわかる。

[例]

